

真言宗智山派

「女性教師全数アンケート調査」

集計結果報告

【調査の概要】 ※詳細については、『現代密教』第33号（令和6年3月発行）を参照のこと

1. 真言宗智山派「女性教師全数アンケート」調査の目的と経緯

現代宗教研究室では、伝法院の総合研究テーマである「伝統の創造」に対して現代的に取り組むため、令和2年度より「仏教とジェンダー」研究会を開催している。主に、現在の仏教宗団や今後のありかたを模索するため、女性教師（尼僧）と寺庭婦人の歴史や現状に関して研究を進めている。

本調査を実施するに至った経緯については、令和4年度に他宗の女性教師について外部講師を招聘し学びを深めたことをうけ、本宗女性教師との比較対照を行おうと様々に試みたところに端を発する。しかしながら、活用に耐えうるデータが本宗にはほぼ存在しないことがわかり、新たなデータ収集が必要と判断した。そのため、本宗の女性教師の現状を包括的に把握することを目的として、全数アンケート調査を実施することとした。

2. 対象者と調査項目について

・対象者について

活動の実態を具体的に把握するため、対象者を「女性教師」に絞ることとした。「女性教師」という表記にした理由については、一般的に女性の僧侶を「尼、尼僧」と呼ぶことが多いが、教師に限定した調査であることから明確に「女性教師」という表記を使用することとした。また、

『宗制』の「教師規程」に女性僧侶・教師を指して「尼、尼僧」とする表記がないことも理由の一つである。

・調査項目概要

調査項目の内容については、令和4年9月～12月にかけて研究会内で検討を行った。調査項目の大枠と設定理由は以下のとおり。

1. 基本情報（教区、年代、僧階など）
2. 教師になった動機と時期
（僧階取得の動機、現在の師僧との関係、補命された年齢など）
→男性の後継者がいない、夫である僧侶との離別など、女性特有の事例があるかどうかを把握するため。
3. 教師としての活動状況
4. 今後の活動状況
（自身が希望する活動が行えているか、研鑽の機会としてどのような内容を希望するか、など）
→女性教師が資格保持のみではなく活動しているかどうか、また活動しやすい状況にあるかどうかを把握するため。
5. 生活の状況
（相談できる相手の有無、頭髪について）
→日常生活において女性特有の問題があるかを探るため。
6. 教師としての自覚と目標
（目標、女性教師として意識して活動していることはあるか、など）
→教師としての自覚や目標を把握し、その中に女性特有の事例があるかどうかを探るため。

3. 対象実施形式と回収について

・実施期間

令和5年6月に配布、同年7月末日に回収した。

・ 調査票回収率 約50%

送付数 206通（うち宛所不明3通） 回収総数 97通

（但し、うち2通はメ切を大幅に超過してから回収したため、
データ有効数は95通分）

「総合調査」の回収率（おおむね70%以上）と比較すると低く感じられる。一方、郵送を用いた一般的な社会調査での回収率は25%、目標として30%とされていることと比較した場合には、十分高い回収率といえるであろう。「総合調査」と比較して回収率が低くなった要因は複数考えられるが、第一にこの「女性教師全数アンケート」調査の実施が‘初めて’であったことが大きな要因と考えられる。

反省点としては、こちらの調査の意図が不明瞭で、どう回答すべきか分からなかったのではないかと考えている。先入観を持たずに回答してもらおうと、送付状はごく事務的な文言にしたのだが、‘初めて’であるがゆえに、より丁寧に調査の経緯や設問の設定理由等を説明するべきであった。また、基礎情報を細かく質問したため個人の特定につながるという懸念を与えてしまったようである。そのため、回答をためらわれた方も一定数いたものと推察している。もし次回の調査を行うことがあれば、匿名性を高めるとともに説明を尽くすよう改善していきたい。

4. 調査の分析研究報告について

中間報告については『現代密教』第33号（令和6年3月発行）に掲載した。本号においては、集計結果と併せて、分析研究を二部に分けて掲載する。分析研究の二部は、アンケート前半部分（問1～20）の選択形式を「データ編」、また後半部分（問21～24）の自由回答形式を「自由回答編」として分けて報告した。紙幅の都合上、問7も自由回答ではあるものの、後半の自由回答編には組み込まず、集計結果の一部に掲載するに留めた。

真言宗智山派「女性教師全数アンケート調査」集計結果報告

凡例

- ・ 調査結果について、複数回答の場合は回答者数に対する割合表示のため、合計が必ずしも100%にはならない場合がある。
- ・ 問1 D・Eについては、個人の特定につながるため割愛した。

女性教師全数アンケート 集計結果

問1. A～Eについてそれぞれお答えください。

※D.Eは自由回答のため割愛

問1-A. 年代

	回答数	%
20代	9	9.5
30代	18	18.9
40代	16	16.8
50代	25	26.3
60代	13	13.7
70代	8	8.4
80歳以上	4	4.2
無回答	2	2.1
サンプル数	95	

問1-B. 僧階

	回答数	%
大僧正	0	0
権大僧正	0	0
中僧正	1	1.1
権中僧正	0	0
少僧正	0	0
権少僧正	5	5.3
大僧都	5	5.3
権大僧都	8	8.4
中僧都	20	21.1
権中僧都	9	9.5
少僧都	8	8.4
権少僧都	15	15.8
大律師	1	1.1
律師	9	9.5
権律師	5	5.3
わからない	6	6.3
無回答	3	3.2
サンプル数	95	

問1-C. 寺院内役職

	回答数	%
住職・主管者	27	28.4
長老	1	1.1
副住職・住職後任候補者	33	34.7
その他	29	30.5
無回答	5	5.3
サンプル数	95	

問2. あなたの現在の仕事は次のどれですか。(複数回答)

	回答数	%
自坊の僧侶	56	58.9
自坊の僧侶以外の仕事	24	25.3
寺庭婦人	28	29.5
学生	3	3.2
なし	7	7.4
その他	7	7.4
無回答	1	1.1
サンプル数	95	

問2-A. 自坊の僧侶以外の仕事（複数回答）

	回答数	%
教育職（保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学等）	4	16.7
公務員（教育職を除く）	0	0
会社員	5	20.8
自営業	3	12.5
農林・漁業	0	0
医療・介護職	3	12.5
自由業	0	0
パート・アルバイト	5	20.8
宗務庁職員・宗派機関の研究職所員	3	12.5
他寺職員	0	0
その他	1	4.2
無回答	1	4.2
サンプル数	24	

問2-B. 自坊僧侶以外に職を求めた理由

	回答数	%
経済的な理由から	12	50
やりたい仕事だから	4	16.7
社会との接触を保つため	3	12.5
時間に余裕があるから	0	0
その他	3	12.5
無回答	2	8.3
サンプル数	24	

問3. 現在あなたはあなたの収入のみで生計を立てることができていますか。

	回答数	%
できている	40	42.1
できていない	52	54.7
無回答	3	3.2
サンプル数	95	

問3-1. 自分の収入の割合

	回答数	%
僧侶の収入のみ	24	60
僧侶の方が兼職（別の職業）の収入より多い	3	7.5
兼職（別の職業）の収入の方が僧侶の収入より多い	4	10
兼職（別の職業）の収入のみ	9	22.5
無回答	0	0
サンプル数	40	

問3-2. 世帯の生活基盤

	回答数	%
親族の収入	10	19.2
配偶者の収入	33	63.5
その他	6	11.5
無回答	3	5.8
サンプル数	52	

問4. あなたに配偶者（夫）はいますか。

	回答数	%
いる	51	53.7
いない	31	32.6
以前はいた	12	12.6
無回答	1	1.1
サンプル数	95	

問4-1. 配偶者の職業

	回答数	%
智山派教師の専業	30	58.8
智山派教師と他職の兼業	5	9.8
智山派教師以外の職業の専業	8	15.7
その他	7	13.7
無回答	1	2
サンプル数	51	

問5. あなたの出身は次のどちらですか。

	回答数	%
寺院	63	66.3
在家	32	33.7
無回答	0	0
サンプル数	95	

問6. 教師になろうとした動機は何ですか。(複数回答)

	回答数	%
親族が僧侶	42	44.2
周囲の勧め	6	6.3
師僧の勧め	12	12.6
仏教に興味を持った	33	34.7
配偶者が寺院と関係していた	3	3.2
住職・副住職(夫)の手助け	19	20
寺院の後継	53	55.8
自分の修行のため	22	23.2
資格取得の一つとして	9	9.5
経済的理由	2	2.1
その他	5	5.3
無回答	1	1.1
サンプル数	95	

問7. 教師になろうとした動機や経緯について、差し支えなければ自由にご記入ください。

(回答の一部)

・住職の病気で、法務の補助が必要となったため
 ・幼少の頃から後継者だと言われてきた
 ・親孝行のため
 ・主体的に寺院活動を行いたかった
 ・後継者である夫が他界し、息子が僧侶になるまでの間務めるため
 ・宗教者の姿勢、使命に共感を覚えた
 ・男兄弟がいないため、自分が教師になった方が良かった

問8. あなたと現在の師僧との関係についてお答えください。

	回答数	%
実親(養父母も含む)	42	44.2
義親(配偶者の父母)	2	2.1
配偶者(夫)	16	16.8
祖父母	0	0
親戚	3	3.2
法類	10	10.5
その他	17	17.9
無回答	5	5.3
サンプル数	95	

問9. あなたが教師に補命された年齢についてお答えください。

	回答数	%
19歳以下	2	2.1
20～22歳	21	22.1
23～29歳	28	29.5
30～39歳	12	12.6
40～49歳	21	22.1
50～59歳	8	8.4
60歳以上	2	2.1
無回答	1	1.1
サンプル数	95	

問10. あなたが加行を履修した年齢についてお答えください。

	回答数	%
19歳以下	12	12.6
20～22歳	18	18.9
23～29歳	22	23.2
30～39歳	14	14.7
40～49歳	20	21.1
50～59歳	7	7.4
60歳以上	2	2.1
無回答	0	0
サンプル数	95	

問11. あなたは練行を履修しましたか。

	回答数	%
履修した	26	27.4
履修していない	69	72.6
無回答	0	0
サンプル数	95	

問11-1. 練行を履修した年齢

	回答数	%
19歳以下	0	0
20～22歳	0	0
23～29歳	7	26.9
30～39歳	5	19.2
40～49歳	9	34.6
50～59歳	4	15.4
60歳以上	1	3.8
無回答	0	0
サンプル数	26	

問11-2. 練行を履修しない理由（複数回答）

	回答数	%
履修方法を知らない	5	7.2
必要性を感じない	19	27.5
時間的理由	44	63.8
経済的理由	10	14.5
その他	16	23.2
無回答	1	1.4
サンプル数	69	

問12. 七級（大僧都）以下の方にお尋ねします。将来的に六級昇補を希望しますか。

	回答数	%
希望する	28	35
希望しない	47	58.8
無回答	5	6.3
サンプル数	80	

問12-1. 六級昇補を希望する理由（複数回答）

	回答数	%
個人の研鑽	22	78.6
檀信徒からの要請	5	17.9
本宗他教師との兼ね合い	6	21.4
総本山・宗派の興隆	2	7.1
弟子養成のため	4	14.3
法流の伝承	11	39.3
その他	8	28.6
無回答	0	0
サンプル数	28	

問12-2. 六級昇補を希望しない理由
(複数回答)

	回答数	%
昇補の方法を知らない	0	0
昇補に興味が無い	32	68.1
時間的理由	18	38.3
経済的理由	10	21.3
その他	12	25.5
無回答	0	0
サンプル数	47	

問13. あなたの現在の僧侶としての
主な活動内容は次のどれですか。

	回答数	%
自坊の葬儀・法事・法要	39	41.1
勤務先寺院の葬儀・法事・法要	1	1.1
自坊の事務・会計	9	9.5
勤務先寺院の事務・会計	2	2.1
自坊の催し物(寺子屋、阿字観、写経、お祭りなど)	3	3.2
勤務先寺院の催し物(寺子屋、阿字観、写経、お祭りなど)	1	1.1
僧侶としての活動は何もしていない	11	11.6
その他	13	13.7
無回答	16	16.8
サンプル数	95	

問14. あなたは現在自分が希望する
活動を行えていますか。

	回答数	%
行えている	47	49.5
行えていない	32	33.7
僧侶として希望する活動は何もない	14	14.7
無回答	2	2.1
サンプル数	95	

問14-A. 希望する活動を行えていない理由

	回答数	%
経済的な理由	3	9.4
健康上の理由	3	9.4
住職の意向	1	3.1
兼職が忙しい	2	6.3
家事が忙しい	3	9.4
子育てが忙しい	7	21.9
介護が忙しい	1	3.1
その他	6	18.8
無回答	6	18.8
サンプル数	32	

問14-B. 本来希望している活動（複数回答）

	回答数	%
自坊の葬儀・法事・法要	19	59.4
勤務先寺院の葬儀・法事・法要	2	6.3
自坊の事務・会計	10	31.3
勤務先寺院の事務・会計	2	6.3
自坊の催し物（寺子屋、阿字観、写経、お祭りなど）	19	59.4
勤務先寺院の催し物（寺子屋、阿字観、写経、お祭りなど）	2	6.3
その他	7	21.9
無回答	2	6.3
サンプル数	32	

問15. あなたは現在以下の集まりに参加していますか。（複数回答）

	回答数	%
宗派主催の集まり（伝法院講座・教師講習所など）	25	26.3
教区主催の集まり（総会・講習会など）	47	49.5
青年会主催の集まり（総会・講習会など）	28	29.5
法類・組寺の集まり（法要・年中行事など）	38	40
何も参加していない	33	34.7
無回答	2	2.1
サンプル数	95	

問15-1. 集まりに参加していない理由（複数回答）

	回答数	%
時間がない	14	42.4
開催の連絡が届いていない	2	6.1
参加を認められていない	2	6.1
参加する意義を感じない	6	18.2
その他	12	36.4
無回答	0	0
サンプル数	33	

問16. あなたはこれから僧侶としてどのような研鑽を積んでいきたいですか。

	回答数	%
教相（真言宗の教学、仏教の思想など）	20	21.1
事相（修法、声明など）	15	15.8
教化（寺子屋、写経など）	8	8.4
御詠歌	14	14.7
寺院外の社会にむけた活動（悩み事相談、ボランティアなど）	10	10.5
特になし	16	16.8
その他	3	3.2
無回答	9	9.5
サンプル数	95	

問17. あなたは宗派が提供する研鑽の機会としてどのような内容を希望しますか。

	回答数	%
寺院運営に関する内容	9	9.5
葬儀・法事に関する内容	15	15.8
仏教の教えに関する内容	13	13.7
教化に関する内容	10	10.5
尼僧を対象とした内容	2	2.1
社会にむけた活動(悩み事相談、ボランティアなど)に関する内容	12	12.6
特になし	18	18.9
その他	5	5.3
無回答	11	11.6
サンプル数	95	

問18. あなたはこれからどのような活動をしていきたいですか。

	回答数	%
法務・檀務	31	32.6
山内整備	5	5.3
社会教化	6	6.3
御詠歌	6	6.3
教育	2	2.1
社会にむけた活動(悩み事相談、ボランティアなど)	19	20
研究	1	1.1
特になし	11	11.6
その他	4	4.2
無回答	10	10.5
サンプル数	95	

問19. あなたは他の女性教師に相談したり、相談されたりすることがありますか。

	回答数	%
相談することがある	6	6.3
相談されることがある	8	8.4
相談することもされることもある	20	21.1
相談することもされることもない	42	44.2
相談したいが、周囲に相談できる女性教師がない	15	15.8
無回答	4	4.2
サンプル数	95	

問19-1. 相談内容(複数回答)

	回答数	%
仕事に関すること	26	76.5
自坊に関すること	14	41.2
自分の家族に関すること	12	35.3
檀信徒に関すること	19	55.9
他の僧侶との人間関係	10	29.4
恋愛・結婚に関すること	7	20.6
育児に関すること	6	17.6
経済的なこと	3	8.8
頭髪・身なりに関すること	11	32.4
その他	1	2.9
無回答	1	2.9
サンプル数	34	

問20. あなたの頭髮についてお尋ね
します。

	回答数	%
剃髪	18	18.9
丸刈り	12	12.6
耳にかからない程 度の短髪	12	12.6
それ以外	51	53.7
無回答	2	2.1
サンプル数	95	

問20-1. 日常生活でウィッグ・かつら
などを着用しているか。

	回答数	%
着用している	9	30
着用していない	21	70
無回答	0	0
サンプル数	30	

問21. どのような教師でありたいと
思いますか。目標についてお
書きください。

問22. 女性教師として意識して活動
していることはありますか。

問23. 女性教師として疑問に思うこ
と、不都合に思うことがあり
ますか。

問24. 女性教師として強みを感じる
ことはありますか。

分析研究報告（自由回答編）を参照